

Netfinity 5500

セットアップ・ガイド

IBM

Netfinity 5500

セットアップ・ガイド

第 1 版 (1998 年 5月)

原 典	10L9879 Netfinity 5500 Start Here
発 行	日本アイ・ビー・エム株式会社
担 当	ナショナル・ランゲージ・サポート

Copyright International Business Machines Corporation 1998. All rights reserved.

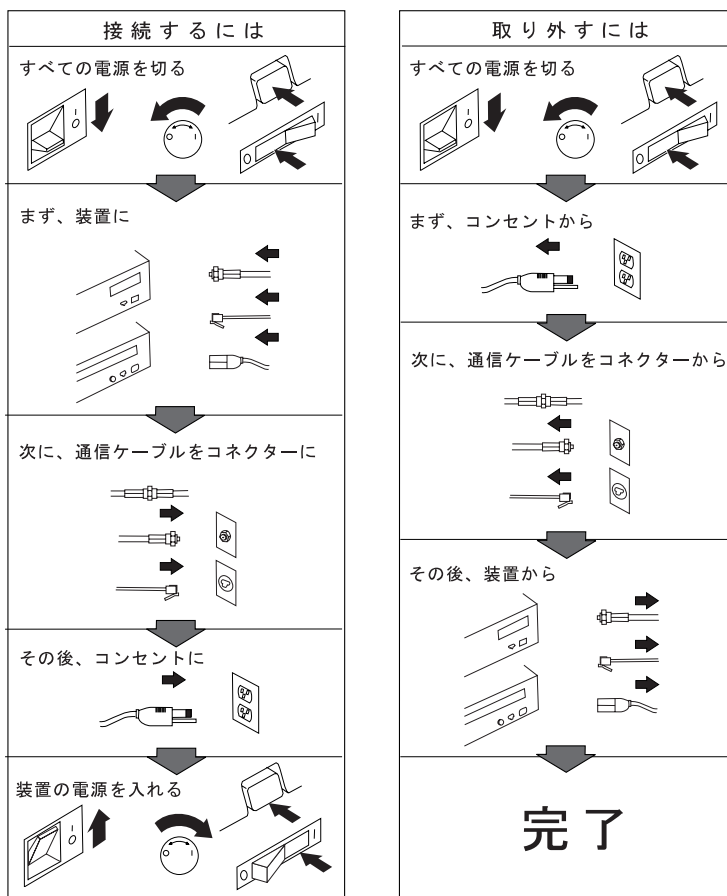
Translation: Copyright IBM Japan 1998

安全上の注意

Netfinity 5500 に関する安全上の注意の詳細については、*Netfinity 5500 ユーザーズ・ハンドブック* を参照してください。

⚠危険

- 電源コードは、正しく設置された電源コンセントに接続してください。
- 電源コードは、電話ケーブル、および通信ケーブルには危険な電流が流れています。感電を防止するために、コンピューターまたは接続装置を設置または移動するとき、またはカバーを開ける際には、下記の手順でケーブルの接続および取り外しを行ってください。



電話ケーブル、通信ケーブルまたはテレビのアンテナ線を接続する製品は、雷の発生時にはケーブルの接続および取り外しをしないでください。

セットアップの概要

本書では、サーバーの配線や始動、オプションの取り付け、およびネットワーク・オペレーティング・システム (NOS) のインストールに必要な情報を提供します。また、機能、ヘルプ情報、およびサーバー各部の図などの一般情報も含まれます。

詳しい情報が必要な場合、またはオプションを取り付ける場合は、*IBM Netfinity 5500 ユーザーズ・ハンドブック*を参照してください。

次は、サーバーのセット・アップ時に実行する手順、およびサーバーを確実に正しく機能させるための手順です。

- 1** サーバーを箱から出して、「付属品チェックリスト」を確認します。
- 2** NetBAY3 ベゼルを取り付けます。
- 3** ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブを 1 つ以上取り付け、必要な場合は、マイクロプロセッサを追加して取り付けます。
- 4** サーバーの配線をします。
- 5** サーバーを始動し、POST (始動テスト) を実行します。
- 6** ソフトウェアをインストールします。
- 7** アダプターまたは電源機構などのオプションを取り付けます。
- 8** デバイス・ドライバーをインストールします。
- 9** ラックにサーバーを取り付けます(ラック・モデルのみ)。

付属品の確認

次の付属品がそろっていることを確認します。

ハードウェア:

- IBM Netfinity 5500 サーバー
- キーボード (タワー・モデルのみ)
- マウス(タワー・モデルのみ)
- システム電源コード
- NetBAY3 ベゼル (タワー・モデルのみ)
- メディア取り付けキット
- ラック取り付け用ハードウェア (ラック・モデルのみ)
- サーバー・キー (2 個) (サーバーのキーロックのそばにあります。)

注: サーバー・キーを紛失した場合は、キー・ロックとキーを一式で IBM から購入して、交換する必要があります。

ソフトウェア:

- IBM ServerGuide* CD-ROM パッケージ
- その他のソフトウェア・パッケージ

マニュアル類:

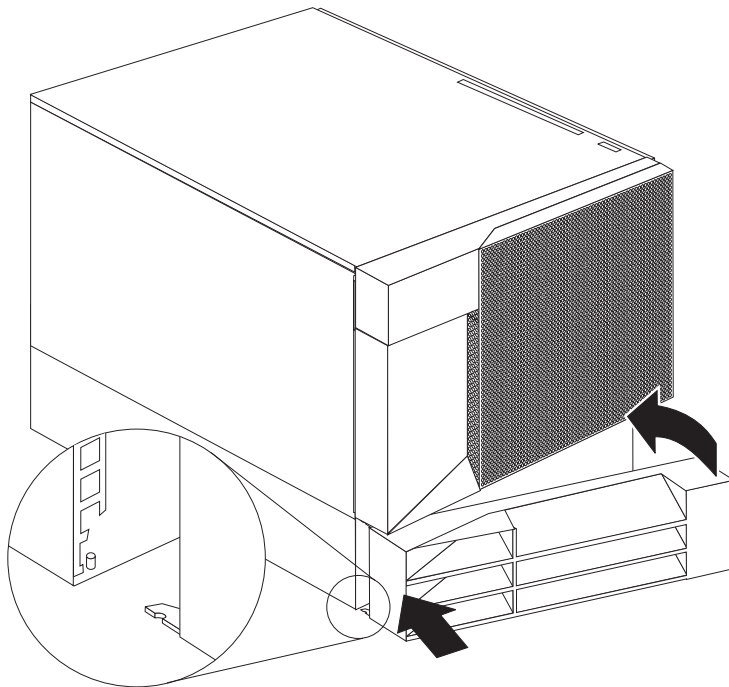
- IBM Netfinity 5500 ユーザーズ・ハンドブック*
- IBM Netfinity ラック・テンプレート (ラック・モデルのみ)

万一、部品が不足または破損していた場合は、商品を購入した販売代理店に連絡してください。
問題がない場合は、『NetBAY3 ベゼルの取り付け』(4ページ)に進んでください。

NetBAY3 ベゼルの取り付け (タワー・モデルのみ)

NetBAY3 は、Netfinity 5500 タワー・モデルの下部に取り付けられています。本製品には、NetBAY3 用のベゼルが付属しており、NetBAY3 の中に入っています (取り付けられていません)。NetBAY3 の詳しい情報については、*Netfinity 5500 ユーザーズ・ハンドブック*を参照してください。

1. NetBAY3 中のベゼルを確認します。
2. NetBAY3 ベゼルが入っているパッケージを取り出し、梱包を解きます。
3. ベゼルの左側のタブを、サーバー上の突起部分に掛けます。
4. ベゼルのロックがかかるまで、ベゼルの右側をサーバーに向かって軽く押します。
5. 『ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け』 (5ページ) に進みます。

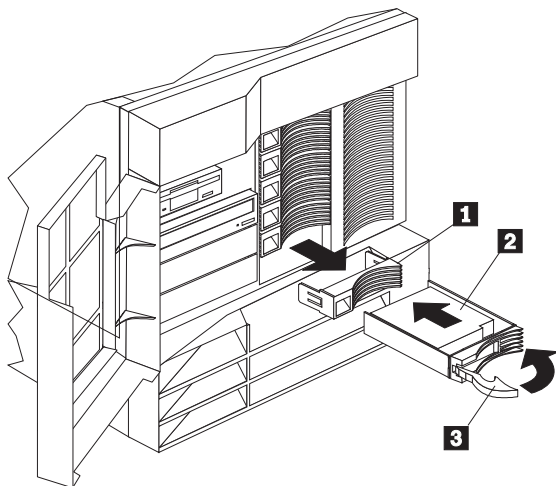


ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け

— 取り付け前にお読みください —

ご使用の Netfinity 5500 サーバーには、内蔵 ServeRAID コントローラーが装備されています。サーバーを構成する前に、ディスク・アレイをどのようにセットアップするかを決める必要があります。構成するディスク・アレイの RAID のレベル (0、1、または 5) によって、取り付けなければならないハードディスク・ドライブの数が決まります。RAID レベル 0 では 1 つ以上、RAID レベル 1 では 2 つ以上、さらに RAID レベル 5 では、3 つ以上のハードディスク・ドライブが必要になります。追加情報については、*Netfinity 5500 ユーザーズ・ハンドブック* を参照してください。

1. ドライブが入っている静電気防止パッケージを、サーバーの塗装処理されていない金属面に触れさせ、次に、ドライブをパッケージから取り出します。
2. サーバーのドアがロックされている場合は、ロックを解除し、ドアを開きます。
3. 空のホット・スワップ・ベイのフィルラー・パネル 1 の左側にあるくぼみに指を入れて、サーバーから引き出し、フィルラー・パネルを取り外します。
4. ホット・スワップ・ドライブ上のトレイ・ハンドル 3 を開いている状態 (ドライブに対して垂直) にし、ドライブ 2 をベイ内のガイドレールに合わせてから、ベイにスライドさせます。
5. ドライブをバックプレーンに接続するまで挿入し、次に、トレイ・ハンドルをロックがかかるまで右に押します。



次の手順：

マイクロプロセッサを追加する場合は、取り付けてからここに戻り、『サーバーの配線』(7ページ)に進みます。取り付け方法については、マイクロプロセッサに付属の説明書および*Netfinity 5500 ユーザーズ・ハンドブック*を参照してください。

注： NOS をインストールする場合は、SMP (synchronous multiprocessor) モードで作動するための正しいパラメーターを、必ず選択してください。

マイクロプロセッサを取り付けない場合は、『サーバーの配線』(7ページ)に進みます。

サーバーの配線

1. サーバーの配線は、空気循環のよい場所で行ってください。サーバーの周りには、最低でも次のスペースを確保してください。

前面に 102 mm

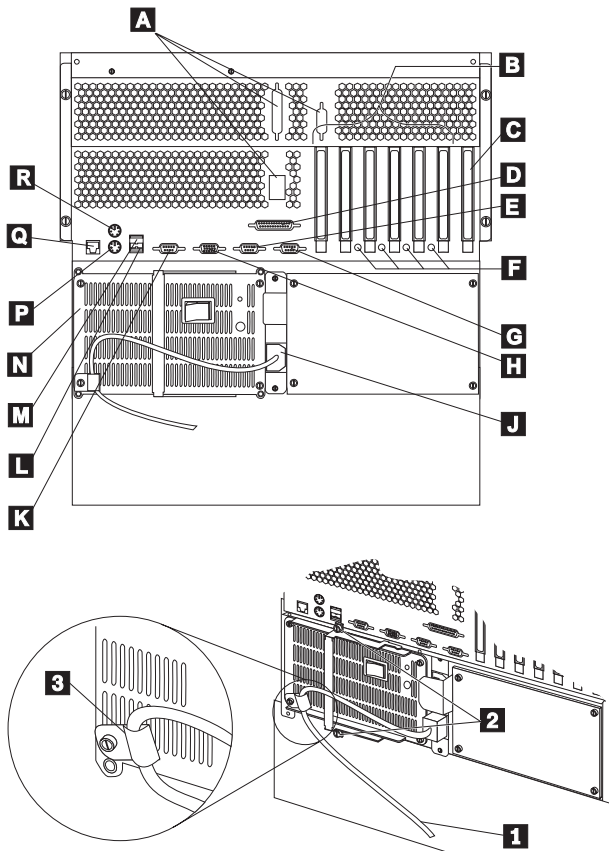
背面に 127 mm

左右に 51 mm

2. 次の図を見ながらサーバーにケーブルを接続します。

注意:

- a. モデムまたはファクシミリをサーバーに接続していて、英国にお住まいの場合は、最初に電源コードをコンセントに差し込み、次に、電話線を壁のモジュラー・ジャックとサーバーに接続します。
 - b. サーバーの 10BASE-T または 100BASE-TX ポートをハブに接続するには、両端に RJ-45 コネクタが付いている UTP ケーブルを使用します。100BASE-TX コネクタ用には、電磁的な互換性を含め、各種の基準を満たすため、EIA/TIA-568 カテゴリー 5 のケーブルを使用する必要があります。
3. 電源コード 1 をサーバーに接続します。
 4. ネジ 2 を電源機構から取り外します。
 5. 電源コード固定ブラケット 3 を取り付けます(使用可能な場合)。
 6. 電源コードを、コンセントにすべて接続します。
 7. 『サーバーの始動』(9ページ)に進みます。



サーバー・ケーブル・コネクタ

- A 外付けコネクタ・ロックアウト
- B PCI 拡張スロット
- C ISA 拡張スロット
- D パラレル・ポート
- E シリアル A コネクタ
- F ホット・プラグ PCI スロットのアテンション・ライト
- G シリアル B コネクタ
- H ビデオ・モニター
- J 電源機構 1 電源コネクタ
- K 管理 C コネクタ
- L 汎用シリアル・バス (USB) 2
- M 汎用シリアル・バス (USB) 1
- N 電源機構 1
- P キーボード・コネクタ
- Q イーサネット・コネクタ
- R マウス・コネクタ

サーバーの始動

1. 外部装置 (モニター、プリンター、モデムなど) の電源をすべてオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。次の制御とインディケーターの図を参照してください。

a. ご使用のサーバーの電源機構に電源スイッチがある場合は、電源スイッチがオンになっていることを確認します。

重要: 電源コードをコンセントに差し込み、20 秒待ってから電源スイッチを押してください。こうすると、システム管理プロセッサを初期化できます。

b. サーバー前面の電源スイッチを押します。システム電源ライトがオンになり、POST (始動テスト)が開始します。

注: サーバーの電源コードをコンセントに差し込んでから、電源スイッチを押すまでの間は、システム電源ライトが点滅します。

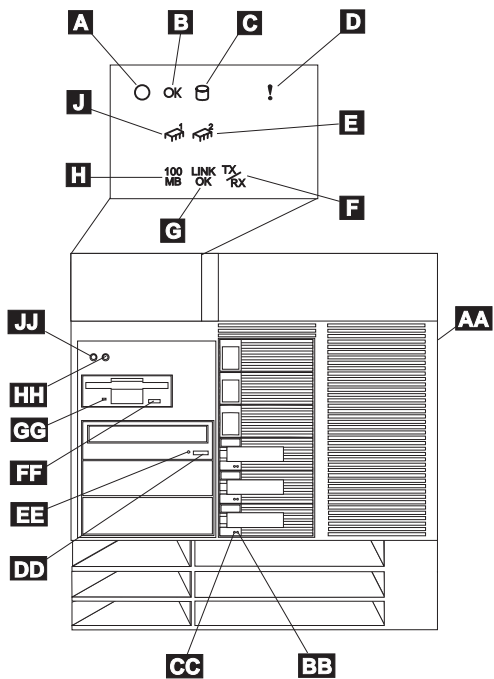
2. モニターを見ます。

システムで POST (始動テスト) が無事に終了すると、ピープ音が 1 回鳴って、システム POST 完了ライトがオンになります。次に始動可能な(ブート可能な)メディアを入れることを要求するメッセージが表示されません。

注: “1962 No operating system found. Press F1 to repeat boot sequence”のエラーは、オペレーティング・システムがインストールされていないことが原因で表示されます。これ以外のメッセージが表示された場合、ピープ音が 2 回以上鳴った場合、または画面に何も表示されない場合は、*Netfinity ユーザーズ・ハンドブック* の『問題の解決』の章を参照して問題を解決したあと、ここに戻り、ステップ 3 に進みます。

3. *Netfinity 5500ユーザーズ・ハンドブック* の『サーバーの記録と仕様』の章にある表に、サーバーのシリアル番号とキーの製造番号を記録します。マイクロプロセッサを取り付けた場合も、その表に記録します。

4. 『ソフトウェアのインストール』 (11ページ) に進みます。



制御とインディケータ

- A システム電源ライト
- B システム POST 完了ライト
- C SCSI ハードディスク・ドライブ活動ライト
- D システム・エラー・ライト
- E プロセッサ 2 活動ライト
- F イーサネット送受信用ライト
- G イーサネット・リンク状況ライト
- H イーサネット速度 100 Mbps ライト
- J プロセッサ 1 活動ライト
- AA ドア・ロック (サイド・カバー)
- BB ハードディスク状況ライト
- CC ハードディスク活動ライト
- DD CD-ROM 取り出しボタン
- EE CD-ROM ドライブ使用中ライト
- FF ディスケット取り出しボタン
- GG ディスケット・ドライブ使用中ライト
- HH リセット・ボタン
- JJ 電源スイッチ

ソフトウェアのインストール

ご使用のサーバーには、IBM ServerGuide CD-ROM が付属しています。この CD-ROM から、このサーバー用のテスト済みデバイス・ドライバを使用したインストールが簡単に行えます。

IBM ServerGuide CD-ROM のプログラムを使用して、次のことができます。

サポートされるハードウェアを CD-ROM から直接構成できます。

使いやすいウィザードで、NOS のインストール手順の一部を自動化できます。

サーバーに取り付けられているハードウェア (サポートするもの) を検出し、そのハードウェア用にテスト済みのデバイス・ドライバを提供します。

注: これらのシステム独自のデバイス・ドライバには、現在市販されている NOS パッケージに含まれるデバイス・ドライバよりも新しいものがあります。

インストール内容を複製し、複数システムへの Windows NT Server 4.0 のインストールを簡素化できます。

評判のアプリケーション・プログラムを CD-ROM から直接インストールできます。

IBM Update Connector をインストールできます。インストールを行うと、ご使用のサーバーを IBM に接続して、使用可能なデバイス・ドライバ、BIOS、および最新のプログラムを入手できます (Windows NT Server 4.0 および TCP/IP を使用したインターネットへのアクセスが必要です)。

詳しい情報は、ServerGuide パッケージに付属の説明書を参照してください。

次の手順：

オプションを追加する場合は、取り付けます。取り付け方法については、オプションに付属の説明書および *Netfinity 5500 ユーザーズ・ハンドブック* を参照してください。 *Netfinity 5500 ユーザーズ・ハンドブック* の『サーバーの記録と仕様』の章にある表に、必ず記録してください。

オプションの取り付け後は、オプションに必要なデバイス・ドライバを、すべてインストールしてください。デバイス・ドライバは、オプションに付属のディスクット、オペレーティング・システム、および ServerGuide で提供されています。

ご使用の Netfinity 5500 サーバーがラック・モデルの場合は、 *Netfinity 5500 ユーザーズ・ハンドブック* の『ラックの取り付け』の章を参照してください。

機能一覧

次の表は Netfinity 5500 サーバーの機能をまとめたものです。表の中の機能の詳細については、*Netfinity 5500 ユーザーズ・ハンド・ブック*を参照してください。

マイクロプロセッサ

MMX テクノロジ Intel Pentium II
マイクロプロセッサ
16 KB の 1 次キャッシュ
512 KB の 2 次キャッシュ
2 つまでマイクロプロセッサを増設可能。

メモリー

基本: 128 MB (最小)、1 GB まで拡張可能。
100 MHz の SDRAM (synchronous dynamic random access memory) とエラー訂正コード (ECC)
DIMM (dual inline memory-module) ソケット 4 個

ディスクett・ドライブ

標準: 3.5 インチ、1.44 MB 1 台

ハードディスク・ドライブ

ホット・スワップ可能なハードディスク・ドライブを 6 台までサポート可能。

CD-ROM ドライブ

標準: 32 倍速 IDE

拡張ベイ

ホット・スワップ・ドライブ・ベイ (スリム (1 インチ) 6 個、またはハーフハイ (1.6 インチ) 3 個)
5.25 インチの着脱可能メディア・ベイ 3 個 (1 個は、CD-ROM ドライブ用)
IBM Netfinity NetBAY3 (タワー・モデルのみ) では、オプションを取り付けることによって、さらに拡張ベイの増設が可能。

キーボードおよび補助装置 (タワー・モデルのみ)

キーボード
マウス

拡張スロット

7 個までサポート可能。

32 ビット ホット・プラグ PCI スロット 4 個
32 ビット 基本 (ノン・ホット・プラグ) PCI スロット 2 個
16 ビット ISA スロット 1 個

アップグレード可能なファームウェア

BIOS、診断プログラム、システム管理プロセッサ、および ServeRAID II のアップグレード(使用可能な場合)によって、システム・ボード上の EEPROM の更新が可能。

機密保護機能

ドアおよびトップ・カバー用ロック (タワー・モデルのみ)
NetBAY3 ベゼル・ロック
始動パスワードおよび管理者パスワード
始動ドライブを選択可能
キーボード・パスワード
システム管理機密保護

- ユーザー・ログイン・パスワード
- 読み取り専用または読み取り/書き込みアクセス
- ダイアル・バック

ホット・スワップ・ファン

ホット・スワップ・ファン 3 個

組み込み機能

シリアル・ポート 2 個
汎用シリアル・バス (USB)・ポート 2 個
パラレル・ポート 1 個
マウス・ポート
キーボード・ポート
ビデオ・ポート
システム・ボード上の IBM ServeRAID II コントローラー (2 チャンネル)
システム・ボード上の
10BASE-T/100BASE-TX イーサネット・ポート・コントローラー
システム・ボード上のシステム管理プロセッサ
専用のシステム管理入出力 (I/O) ポート
次と互換性のあるビデオ・コントローラー (1 MB ビデオ・メモリー搭載):

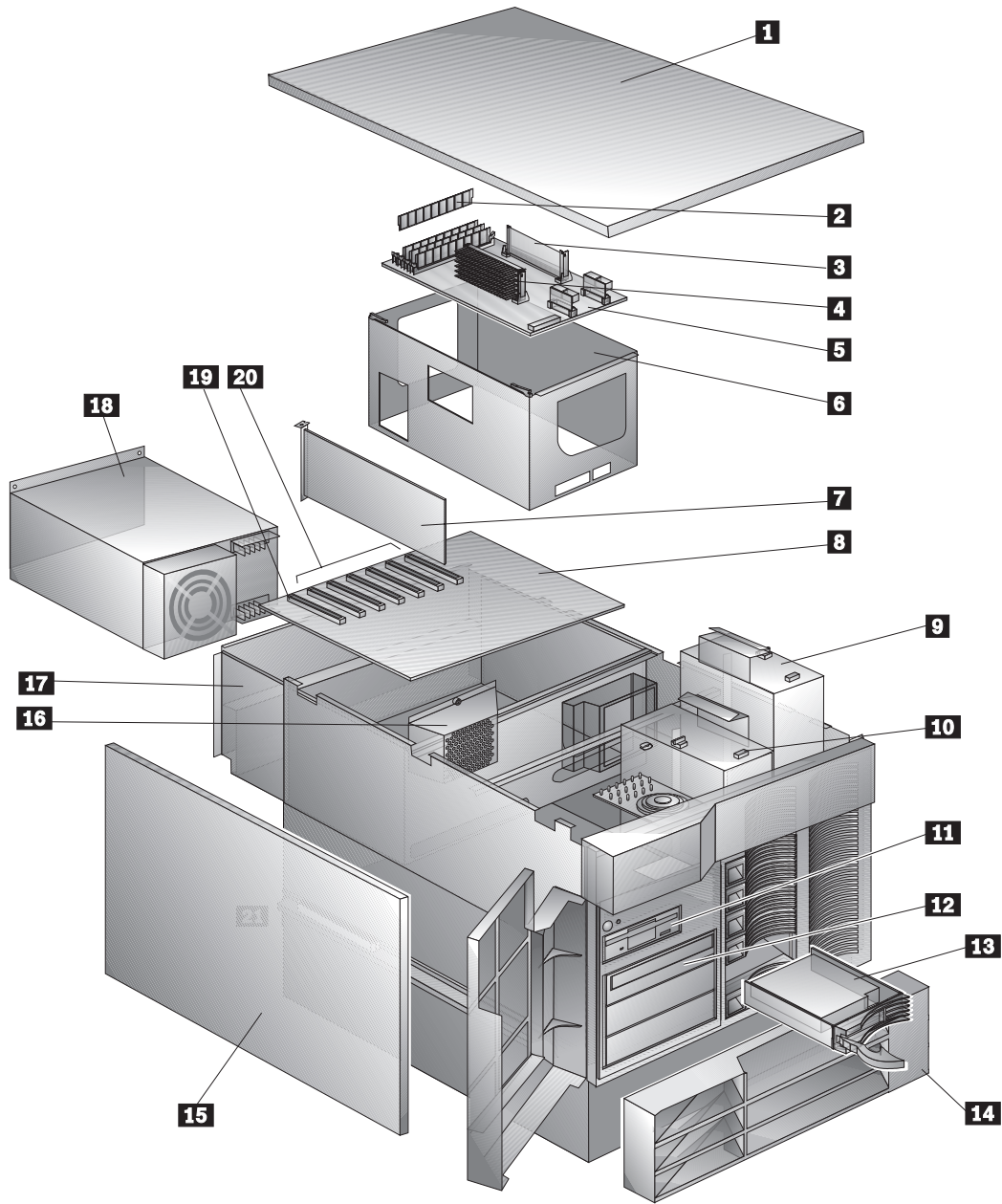
- SVGA (Super video graphics array)
- VGA (Video graphics adapter)

電源機構

400 W (115-230 V ac)
電圧範囲を自動的に選択
過負荷保護およびサージ保護機能を内蔵
電源瞬間切断後の自動再始動
リダンダント電源用に、オプションの 400 W 電源機構を使用可能。

次の装置用の PFA (Predictive Failure Analysis):

VRM
ファン
メモリー
ハードディスク・ドライブ
マイクロプロセッサ



1	トップ・カバー	8	システム・ボード	15	サイド・カバー
2	DIMM (メモリー)	9	ホット・スワップ・ファン 3	(タワー・モデルのみ)	
3	2次マイクロプロセッサ またはターミネーター・カード	1	ホット・スワップ・ファン 2	16	ホット・スワップ・ファン 1
4	1次マイクロプロセッサ	11	ディスケット・ドライブ	17	シャトル
5	プロセッサ・ボード	12	CD-ROM ドライブ	18	ホット・スワップ電源機構
6	マイクロプロセッサ・ハウジング	13	ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ	19	ISA アダプター・スロット
7	PCI アダプターまたはプラスチックの仕切り板	14	NetBAY3 ベゼル (タワー・モデルのみ)	2	PCI アダプター・スロット

ヘルプについて

問題の多くは、オンライン・ヘルプを使用するか、サーバーまたはソフトウェアに付属の説明書を読むことで解決できます。また、ソフトウェアに付属の README ファイルの内容は、必ず読むようにしてください。問題を自分で解決できない場合は、製品を購入した販売代理店または IBM に連絡してください。

商標

本書において使用される次の用語は、米国およびその他の国における IBM 社の商標および登録商標です。

IBM	Predictive Failure Analysis
HelpCenter	ServerGuide
Netfinity	ServeRAID

Intel、MMX、および Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標および登録商標です。

Microsoft、Windows、および Windows NT は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

その他の会社名、製品名、およびサービス名は、各社の商標または登録サービスです。

IBM

部品番号: 22L2159

Printed in Japan

1998 年 5 月



22L2159

List Items

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
RECORD	D3KX2MST SCRIPT	9	3 9

Revisions

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
NEW	D3KX2SET		
		i	
EDIT	D3KX2SET		
		i	
DOT	D3KX2SET		
		i	

Spots

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
NETBAY3	D3KX2MST SCRIPT	4	『NetBAY3 ベゼルの取り付け』 3
HOTHARD	D3KX2MST SCRIPT	5	『ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブの取り付け』 4
SERVHI	D3KX2MST SCRIPT	7	『サーバーの配線』 6, 6
SERVES	D3KX2MST SCRIPT	9	『サーバーの始動』 7
SOFTIN	D3KX2MST SCRIPT	11	『ソフトウェアのインストール』 9

Processing Options

Runtime values:

```

Document fileid ..... D3KX2MST SCRIPT
Document type ..... USERDOC
Document style ..... SERVER
Profile ..... EDFPRF40
Service Level ..... 0014
SCRIPT/VS Release ..... 4.0.0
Date ..... 98.05.25
Time ..... 13:26:37
Device ..... PSA
Number of Passes ..... 3
Index ..... YES
SYSVAR G ..... INLINE
SYSVAR X ..... YES
    
```

Formatting values used:

```

Annotation ..... NO
Cross reference listing ..... YES
Cross reference head prefix only ..... NO
Dialog ..... LABEL
Duplex ..... YES
DVCF conditions file ..... (none)
DVCF value 1 ..... (none)
DVCF value 2 ..... (none)
DVCF value 3 ..... (none)
DVCF value 4 ..... (none)
DVCF value 5 ..... (none)
DVCF value 6 ..... (none)
DVCF value 7 ..... (none)
DVCF value 8 ..... (none)
DVCF value 9 ..... (none)
Explode ..... NO
Figure list on new page ..... YES
Figure/table number separation ..... YES
Folio-by-chapter ..... NO
Head 0 body text ..... (none)
Head 1 body text ..... (none)
Head 1 appendix text ..... 付録
Hyphenation ..... NO
Justification ..... NO
Language ..... JAPA
Keyboard ..... 395
Layout ..... 1
Leader dots ..... YES
Master index ..... (none)
Partial TOC (maximum level) ..... 4
Partial TOC (new page after) ..... INLINE
Print example id's ..... NO
Print cross reference page numbers ..... YES
Process value ..... (none)
Punctuation move characters ..... (none)
Read cross-reference file ..... (none)
Running heading/footer rule ..... NONE
Show index entries ..... NO
Table of Contents (maximum level) ..... 3
    
```


Table list on new page YES
Title page (draft) alignment RIGHT
Write cross-reference file (none)

Imbed Trace

Page 0	D3KX2SET
Page i	NLSEdit
Page 16	E1D9GENT
Page 18	D3KX2YER